

審査結果の要旨

報告番号	乙 第 2829 号	氏名	大淵 綾
審査担当者	主査 山田研太郎 (印) 副主査 豊増 功次 (印) 副主査 石竹達也 (印)		
主論文題目：High plasma fetuin-A levels are associated with metabolic syndrome among males but not females in a Japanese general population (日本の一般住民の女性でなく男性において血清フェチュインA値とメタボリック症候群との関連)			

審査結果の要旨 (意見)

本研究は 673 人の一般住民を対象として血中フェチュイン A 濃度と動脈硬化危険因子との関連を検討したものであり、男性においてフェチュイン A 濃度が BMI、血圧、血中インスリン、LDL コレステロール、トリグリセリドと有意の相関を示し、多変量解析でメタボリックシンドロームと寄与因子であることを明らかにした。フェチュイン A は肝から分泌され、肥満に伴うインスリン抵抗性の成立に関与するほか、カルシウム代謝や慢性炎症など様々な病態に関連することが知られている。本論文は日本人の生活習慣病におけるフェチュイン A の役割について新たな知見を提示し、メタボリックシンドロームに伴う動脈硬化性疾患の予測因子となりうる可能性を示した臨床的意義のある研究であり、学位授与にふさわしいと考える。

論文要旨

フェチュイン A (Alpha-2-HS-glycoprotein: AHSG) は、肝臓で産生され血中へ分泌される糖タンパクであり、血清フェチュイン A 高値が、心筋梗塞や脳梗塞の発症と正相関があると報告され、注目されている新たな冠危険因子である。しかし、血清フェチュイン A 高値が、本邦の一般住民においてメタボリック症候群と関連するかどうかについてはほとんど報告がなかった。そこで我々は、2009 年～2012 年に長崎県宇久島の住民検診受診者 659 人 (男 253 人、女 406 人) を対象にフェチュイン A を測定し、メタボリック症候群との関連を検討した。

血清フェチュイン A 値は、男性において BMI、ウエスト径、収縮期血圧及び拡張期血圧、インスリン、HOMA-IR、LDL コレステロール、中性脂肪、MetS ありと有意に正に関連していた。さらに、男性において、ステップワイズ法を用いた多変量解析で検討すると、メタボリック症候群と LDL コレステロール値は独立して血清フェチュイン A 値と有意な関連を示した。本邦の一般住民において、血清フェチュイン A 高値が男性においてメタボリック症候群と関連する事が示唆された。